

## 30% Club Japan 大学グループ 発足 5 周年に際し、メンバー9 大学トップが DEI 推進共同メッセージを発表

30% Club Japan 大学グループ(Chair: 東京大学総長 藤井輝夫)9大学のトップ(総長／学長／塾長)は、DEI 推進共同メッセージを発表いたします。

当グループは、2020 年 9 月の発足以来、企業役員層における女性参画の増加という 30% Club Japan 全体の目標に寄与するとともに、大学自らのジェンダーダイバーシティを推進する活動を進めてまいりました。質の良い教育と研究を目指すためには、多様性のある大学のコミュニティが不可欠であること、女性やジェンダーマイノリティが高等教育や研究に積極的に参加することは当たり前のことであること、これらの2点を踏まえ、大学運営に多様な視点をもたせることを目指しています。この度、発足以来一区切りとなる 5 周年を迎え、DEI 推進について大学トップの共同メッセージを発表いたします。

### 30% Club Japan 大学グループ 9 大学トップによる DEI 推進共同メッセージ

この度、30% Club Japan 大学グループに所属する 9 大学は、DEI(多様性 Diversity、公平性 Equity、包摂性 Inclusion)の重要性と価値を共有し、今後もその実現に向けた取り組みを、力を合わせて一層推進していくことを確認しました。

DEI が、大学が目標とする学術の卓越性やイノベーション、そして次世代の教育・人材育成にとって、極めて重要で普遍的な価値であることは論を俟ちません。

日本は、国際的にも特に DEI の取り組みが遅れています。世界経済フォーラムが経済・教育・健康・政治についてのデータから毎年算出する「ジェンダー・ギャップ指数」では、2025 年の日本の順位は 148 力国中 118 位であり、とりわけ政治や経済分野におけるジェンダー不均衡が顕著となっています。また教育分野においても、高等教育就学率のジェンダー指数は 112 位と、世界各国に比べ男女平等の実現に向けて課題が山積しています(※)。教育分野での格差は、日本社会のあらゆる分野での男女格差に影響を与えており、政治・経済分野におけるジェンダー不均衡の一因となっています。このような観点から、高等教育におけるジェンダーダイバーシティの推進は、日本社会が今後さらなる活力を得ていく上でも極めて重要です。

大学を率いるリーダー達が自らその重要性を社会に広く訴えることで、多くの人々が意欲をもって自らの可能性を信じ、行動できる勇気を得られるようお願い、それが日本や世界の DEI 推進につながることを確信し、ここに本メッセージを発表します。

東京大学総長 藤井輝夫 (Chair)

大阪大学総長 熊ノ郷淳

お茶の水女子大学学長 佐々木泰子

慶應義塾長 伊藤公平

上智大学学長 杉村美紀

昭和女子大学総長 坂東真理子

津田塾大学学長 高橋裕子

同志社大学学長 小原克博

新潟大学学長 牛木辰男

(Chair を除き、大学名・五十音順)

※ 世界経済フォーラム「[ジェンダー・ギャップ指数](#)」2025